

中小企業景況調査報告書

2022年 10 ～ 12月期実績

2023年 1 ～ 3月期予測

この調査は、商工会の経営改善普及事業の指導資料にするため、国・道の指定事業として、全国商工会連合会を中心に昭和54年から全国一斉に実施しているものである。
調査要領と、北海道分の調査対象20商工会の回答企業数は、次のとおりである。

1. 調査要領

(1) 調査対象時期等

①調査対象時期：2022年10～12月期の実績及び2023年1～3月期見通し

②調査期間：2022年11月2日～11月15日 ※調査時点は2022年11月15日

(2) 調査方法

①商工会の経営指導員等による訪問面接調査

②調査対象企業の抽出は、業種・規模等の有意抽出法による。

(3) 調査対象商工会

①人口 ～9,999人・・・せたな、ニセコ町、積丹町、北竜町、南富良野町、遠別
枝幸町、安平町、大樹町、本別町、標茶町

②人口10,000～29,999人・・・七飯町、えんがる、湧別町、新ひだか町、別海町

③人口30,000人～(市に含まれる)・・・石狩北、北斗市、いわみざわ、あさひかわ

(4) 回答企業数

業種	調査企業数	回答企業数	回答率	業種	調査企業数	回答企業数	回答率
製造業	50	48	96.0%	小売業	86	82	95.3%
建設業	49	48	98.0%	サービス業	115	110	95.7%
				合計	300	288	96.0%

※設備投資の設問については、未回答の企業があるので回答企業数とは一致しない業種があります。

(5) D I = ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)とは？

前年同期と比べて、「増加(上昇・好転)」-「減少(低下・悪化)」の回答企業の比率。

例えば、売上高が前年同期比で「増加」回答企業50%、「不変」回答企業30%、「減少」回答企業20%の場合、D I は50-20=(+)30となり、売上高の面では「増加(上昇・好転)」気運であることを表わす。

2. 全業種の業況(前年同期比、前期比の推移) ※D I 値のみ

業種	前年同期比		前 期 比					
	今期	来期見込	R3. 10-12	R4. 1-3	R4. 4-6	R4. 7-9	今期	来期見込
製造業	▲ 25.0	▲ 27.0	▲ 31.1	▲ 39.5	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 25.0
建設業	▲ 18.7	▲ 20.8	7.2	▲ 23.2	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 25.0
小売業	▲ 34.2	▲ 35.4	▲ 28.8	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 35.0
サービス業	▲ 28.0	▲ 22.5	▲ 23.3	▲ 51.6	▲ 16.5	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 21.5

3. 北海道内商工会地域の状況

製造業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 1-3	R4. 4-6	R4. 7-9	今期	来期見込
業況	好 転	10.4	6.3	0.0	11.1	19.1	10.4	10.4
	不 変	54.2	60.4	60.5	60.0	55.4	60.4	54.2
	悪 化	35.4	33.3	39.5	28.9	25.5	29.2	35.4
	D・I	▲ 25.0	▲ 27.0	▲ 39.5	▲ 17.8	▲ 6.4	▲ 18.8	▲ 25.0
売上(加工)額	増 加	20.8	10.4	11.4	32.7	39.6	20.8	
	不 変	56.3	62.5	34.1	40.8	33.3	37.5	
	減 少	22.9	27.1	54.5	26.5	27.1	41.7	
	D・I	▲ 2.1	▲ 16.7	▲ 43.1	6.2	12.5	▲ 20.9	
資金繰り	好 転	2.1	2.2	2.3	4.2	2.1	4.3	
	不 変	72.4	69.5	70.4	66.6	76.6	65.9	
	悪 化	25.5	28.3	27.3	29.2	21.3	29.8	
	D・I	▲ 23.4	▲ 26.1	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 19.2	▲ 25.5	
原材料仕入単価	上 昇	83.0	72.3					
	不 変	14.9	27.7					
	低 下	2.1	0.0					
	D・I	80.9	72.3					
採算(経常利益)	好 転	10.4	6.3					
	不 変	50.0	52.0					
	悪 化	39.6	41.7					
	D・I	▲ 29.2	▲ 35.4					

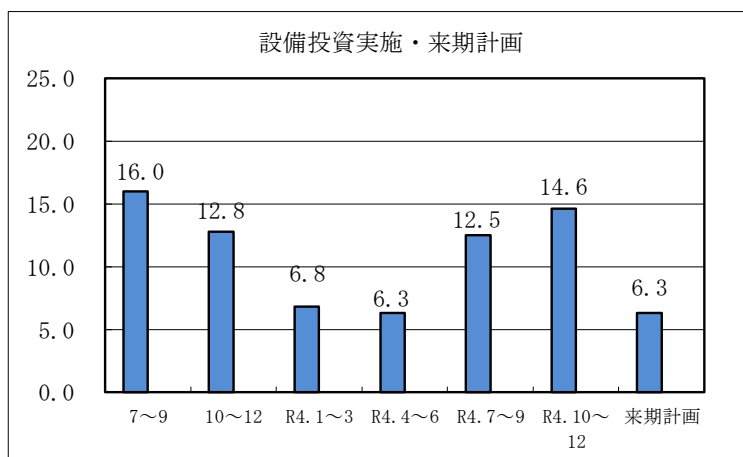
○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

回答48事業所の内、7事業所(14.6%)が実施。
 ●生産設備=5事業所、●工場建物=3事業所、●OA機器、福利厚生施設、その他=各1事業所

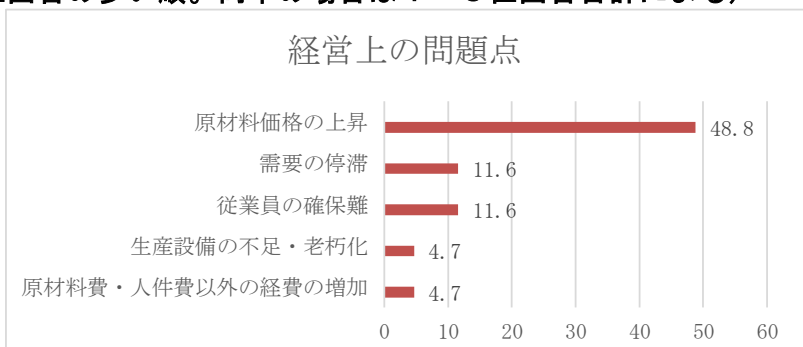
【来期計画内容】

回答48事業所の内、来期に3事業所(6.3%)が計画。
 ●生産設備=3事業所、●工場建物、その他=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「原材料価格の上昇」で前回より2.4ポイント減少している。2位は前回同様の「需要の停滞」で4.7ポイント減少している。3位は前回5位の「従業員の確保難」で6.9ポイント増加している。4位は前回同様の「生産設備の不足・老朽化」で2.3ポイント減少した。5位は前回番外の「原材料費の増加・人件費以外の経費の増加」で2.4ポイント増加した。また、前回3位の「製品ニーズの変化」は6.9ポイント減少し番外となった。



建設業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 1-3	R4. 4-6	R4. 7-9	今期	来期見込
業況	好 転	4.2	4.2	14.0	16.7	10.4	10.4	6.3
	不 変	72.9	70.8	48.8	62.5	72.9	68.8	62.4
	悪 化	22.9	25.0	37.2	20.8	16.7	20.8	31.3
	D・I	▲ 18.7	▲ 20.8	▲ 23.2	▲ 4.1	▲ 6.3	▲ 10.4	▲ 25.0
完成工事 (請負工 事) 額	増 加	14.6	12.5	14.3	22.2	39.6	33.3	
	不 変	54.1	58.3	28.6	44.5	39.6	37.5	
	減 少	31.3	29.2	57.1	33.3	20.8	29.2	
	D・I	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 42.8	▲ 11.1	18.8	4.1	
資金繰り	好 転	8.3	4.2	7.3	2.2	8.5	10.4	
	不 変	83.4	87.5	70.7	84.5	83.0	75.0	
	悪 化	8.3	8.3	22.0	13.3	8.5	14.6	
	D・I	0.0	▲ 4.1	▲ 14.7	▲ 11.1	0.0	▲ 4.2	
材 料 仕入単価	上 昇	87.2	72.3					
	不 変	12.8	27.7					
	低 下	0.0	0.0					
	D・I	87.2	72.3					
採算(経 常利益)	好 転	6.3	4.2					
	不 変	66.6	64.5					
	悪 化	27.1	31.3					
	D・I	▲ 20.8	▲ 27.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

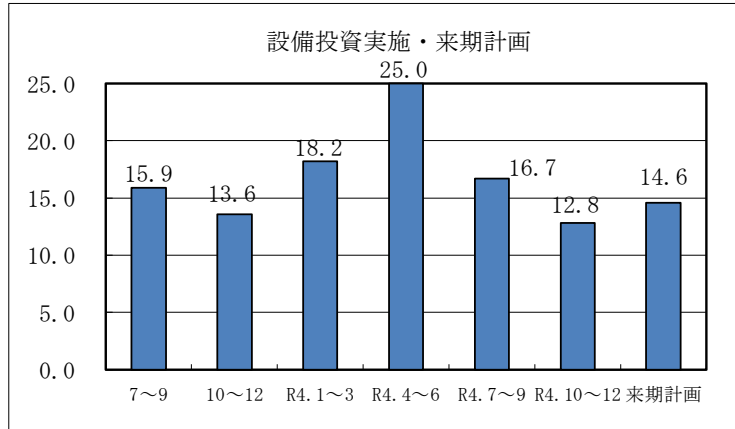
回答48事業所の内、6事業所(12.8%)が実施。

●建設機械、車両・運搬具、土地=各2事業所、●福利厚生、その他=各1事業所

【来期計画内容】

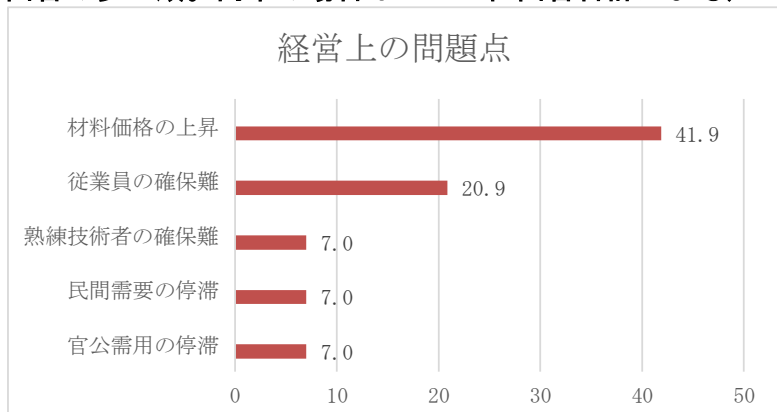
回答48事業所の内、来期は7事業所(14.6%)が計画。

●車両・運搬具=5事業所、●建設機械=3事業所、●付帯施設、OA機器=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回同様の「材料価格の上昇」で1.0ポイント減少した。2位も前回同様の「従業員の確保難」で4.2ポイント増加した。3位は前回4位の「熟練技術者の確保難」で2.5ポイント減少した。4位は「民間需要の停滞」で2.2ポイント増加した。5位は前回3位の「官公需用の停滞」で7.3ポイント減少した。



小 売 業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項 目	状 況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 1-3	R4. 4-6	R4. 7-9	今期	来期見込
業 況	好 転	8.5	7.3	1.6	6.7	7.3	7.3	5.0
	不 変	48.8	50.0	46.8	54.6	58.6	50.0	55.0
	悪 化	42.7	42.7	51.6	38.7	34.1	42.7	40.0
	D・I	▲ 34.2	▲ 35.4	▲ 50.0	▲ 32.0	▲ 26.8	▲ 35.4	▲ 35.0
売 上 額	増 加	17.1	9.8	12.8	20.0	26.5	23.2	
	不 変	37.8	50.0	39.8	40.0	36.2	39.0	
	減 少	45.1	40.2	47.4	40.0	37.3	37.8	
	D・I	▲ 28.0	▲ 30.4	▲ 34.6	▲ 20.0	▲ 10.8	▲ 14.6	
資 金 繰 り	好 転	1.3	4.9	2.6	5.0	3.6	0.0	
	不 変	63.7	59.3	67.9	66.2	69.9	65.4	
	悪 化	35.0	35.8	29.5	28.8	26.5	34.6	
	D・I	▲ 33.7	▲ 30.9	▲ 26.9	▲ 23.8	▲ 22.9	▲ 34.6	
商 品 仕 入 単 価	上 昇	68.3	63.0					
	不 変	28.0	33.3					
	低 下	3.7	3.7					
	D・I	64.6	59.3					
採 算 (経 常 利 益)	好 転	7.4	8.6					
	不 変	43.2	45.7					
	悪 化	49.4	45.7					
	D・I	▲ 42.0	▲ 37.1					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

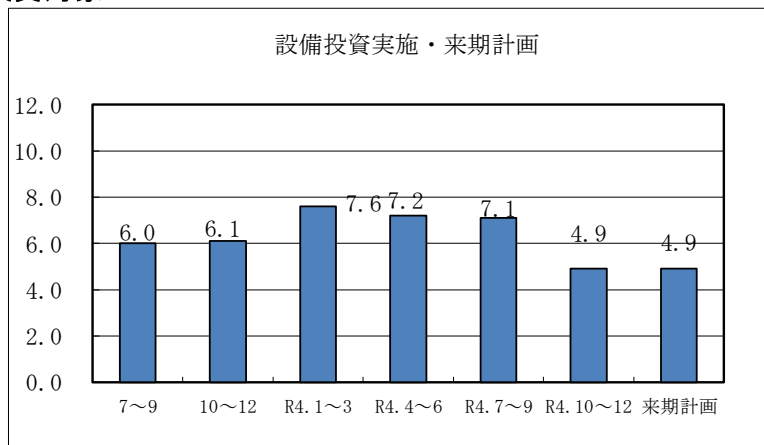
回答82事業所の内4事業所(4.8%)が実施。

●店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器=各1事業所

【来期計画内容】

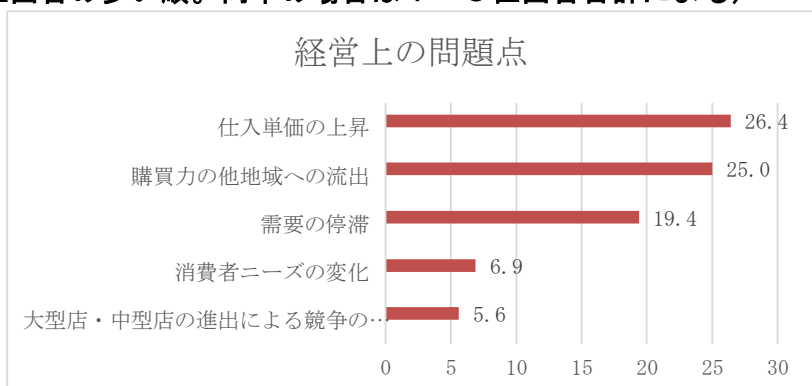
回答82事業所の内、来期は4事業所(4.8%)が計画。

●販売設備、OA機器=各2事業所、●店舗、車両・運搬具、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回3位の「仕入単価の上昇」で、前回から5.2ポイント増加した。2位は前回1位の「購買力の他地域への流出」で10.4ポイント減少した。3位は前回2位の「需要の停滞」で3.9ポイント減少した。4位は前回5位の「消費者ニーズの変化」でポイント増減なし。5位は前回8位の「店舗の狭隘・老朽化」で3.9ポイントの増加となっている。前回4位の「大型店・中型店の進出による競争の激化」は、1.3ポイント減少し今回番外となった。



サービス業

主要景況項目の推移（前年同期比、前期比の推移）

項目	状況	前年同期比		前 期 比				
		今期	来期見込	R4. 1-3	R4. 4-6	R4. 7-9	今期	来期見込
業況	好 転	5.6	6.5	4.4	11.7	12.3	4.7	8.4
	不 変	60.8	64.5	39.6	60.1	60.3	64.2	61.7
	悪 化	33.6	29.0	56.0	28.2	27.4	31.1	29.9
	D・I	▲ 28.0	▲ 22.5	▲ 51.6	▲ 16.5	▲ 15.1	▲ 26.4	▲ 21.5
売上(収入)額	増 加	23.6	17.3	8.0	25.7	26.9	11.9	
	不 変	38.2	52.7	27.0	45.9	45.3	48.7	
	減 少	38.2	30.0	65.0	28.4	27.8	39.4	
	D・I	▲ 14.6	▲ 12.7	▲ 57.0	▲ 2.7	▲ 0.9	▲ 27.5	
資金繰り	好 転	4.6	5.6	2.0	6.5	8.5	2.8	
	不 変	67.6	68.5	55.6	71.1	70.7	69.2	
	悪 化	27.8	25.9	42.4	22.4	20.8	28.0	
	D・I	▲ 23.2	▲ 20.3	▲ 40.4	▲ 15.9	▲ 12.3	▲ 25.2	
仕入単価(材料等)	上 昇	69.4	60.2					
	不 変	28.7	37.0					
	低 下	1.9	2.8					
	D・I	67.5	57.4					
採算(経常利益)	好 転	8.2	5.5					
	不 変	54.5	56.3					
	悪 化	37.3	38.2					
	D・I	▲ 29.1	▲ 32.7					

○ 設備投資実施・来期計画と投資対象

【今期実施内容】

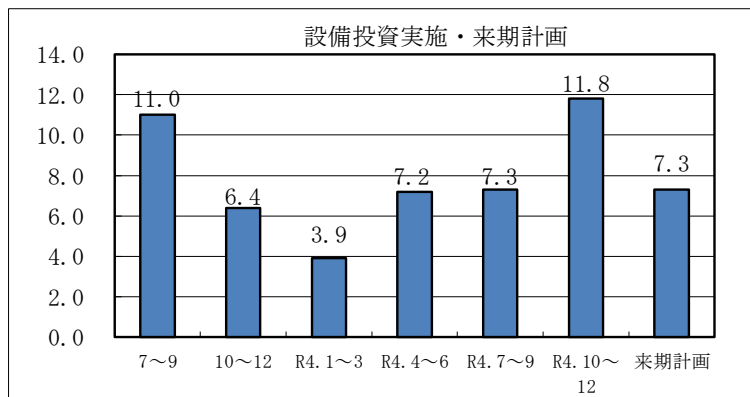
回答110事業所内の、13事業所(11.8%)が実施。

●サービス=6事業所 ●車両・運搬具=5事業所 ●土地=4事業所、●OA機器=3事業所、●建物、付帯設備、その他=各2事業

【来期計画内容】

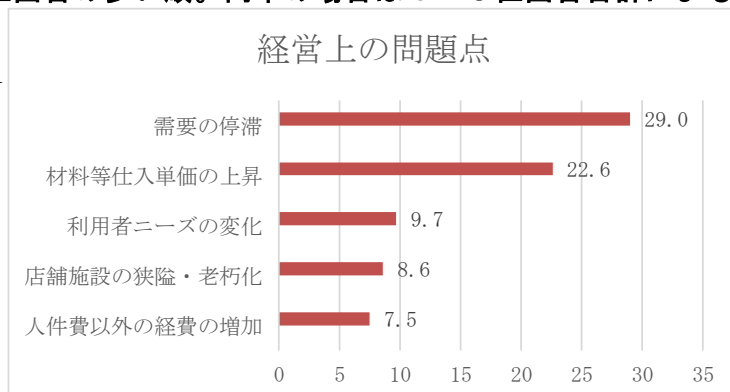
回答110事業所内の、8事業所(7.3%)が計画。

●車両・運搬具、その他=3事業所、●建物、サービス、付帯施設=各1事業所



○ 今期の経営上の問題点（1位回答の多い順。同率の場合は1～3位回答合計による）

1位は前回と同じく「需要の停滞」で、ポイント増減なし。2位も前回同様の「材料等仕入単価の上昇」で1.1ポイント増加した。3位も前回同様の「利用者ニーズの変化」で3.2ポイント減少した。4位は前回5位の「店舗施設の狭隘・老朽化」で2.1ポイント増加した。5位は前回4位の「人件費以外の経費の増加」であり、ポイント増減なし。



4. 全国と対比した主要景況項目の動向 -前年同期比D I-

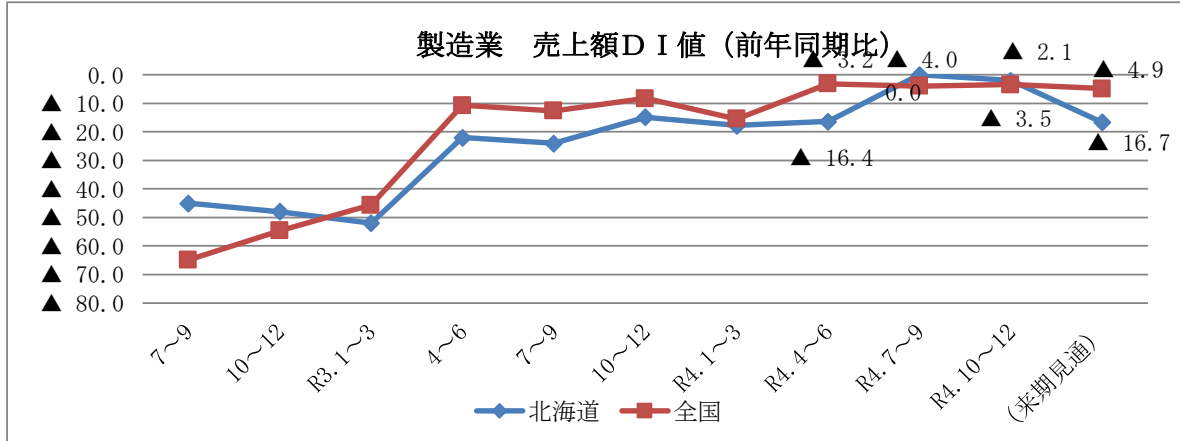
【各調査時期における前年同期比の「増加(上昇・好転)」回答企業比率-「減少(低下・悪化)」回答企業比率】

製造業

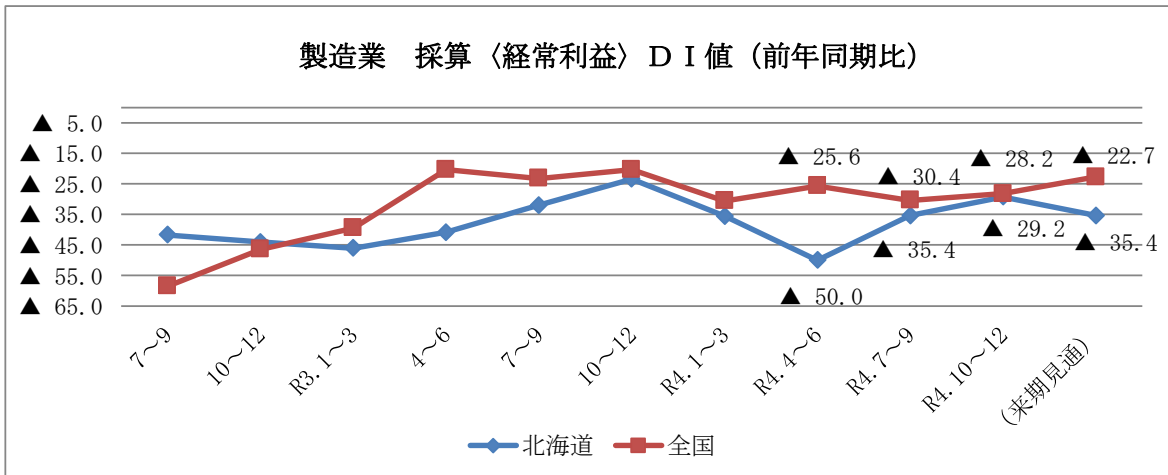
【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
(見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

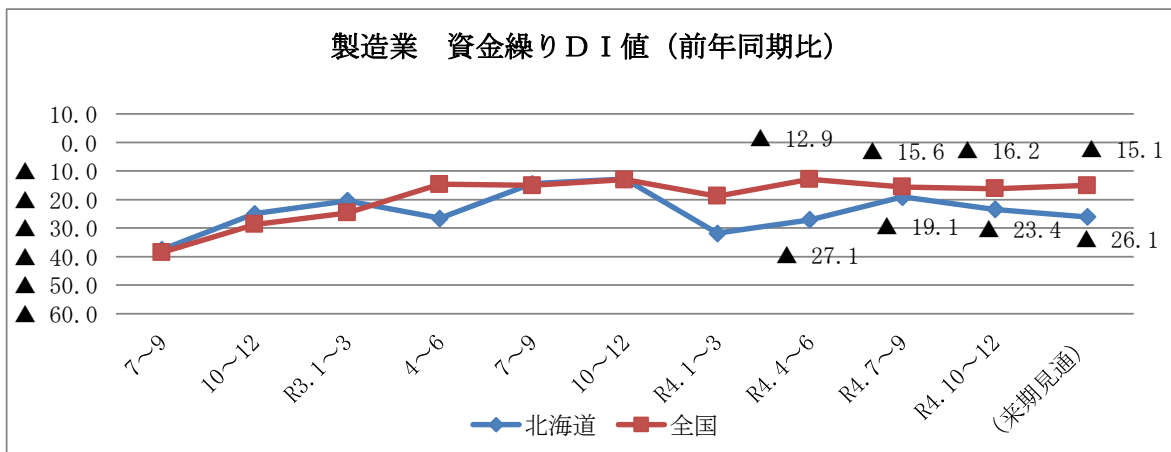
売上額



採算



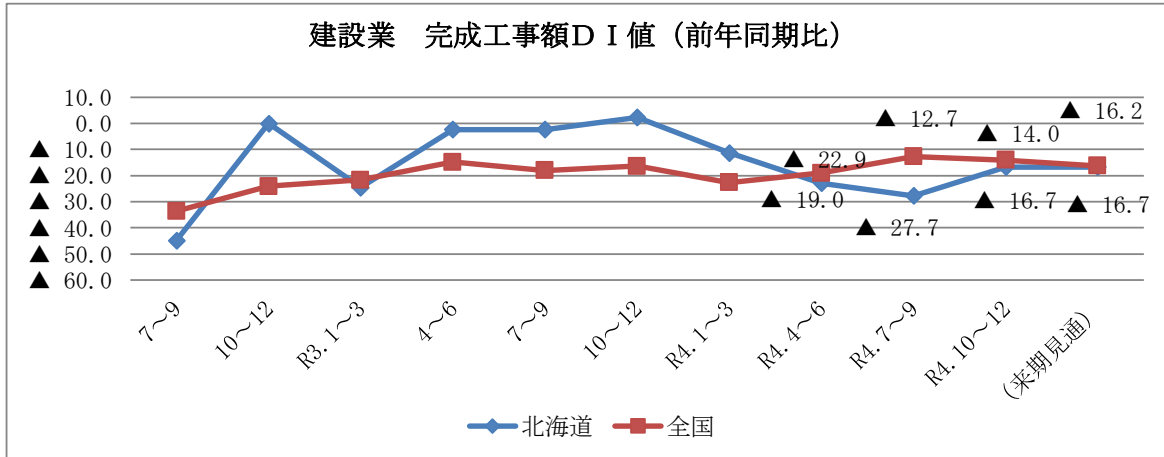
資金繰り



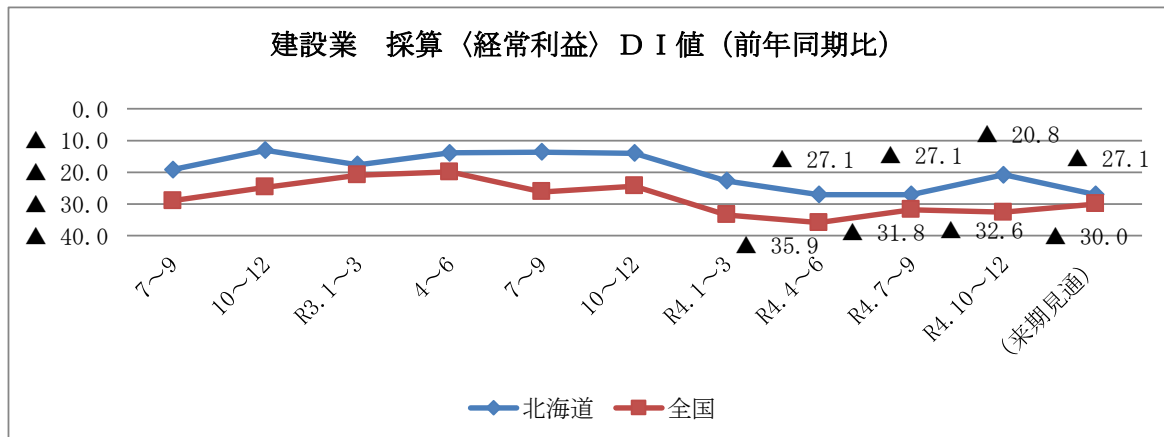
建設業

【北海道】(今期)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)完成工事額▲DI値…減少、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)完成工事額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

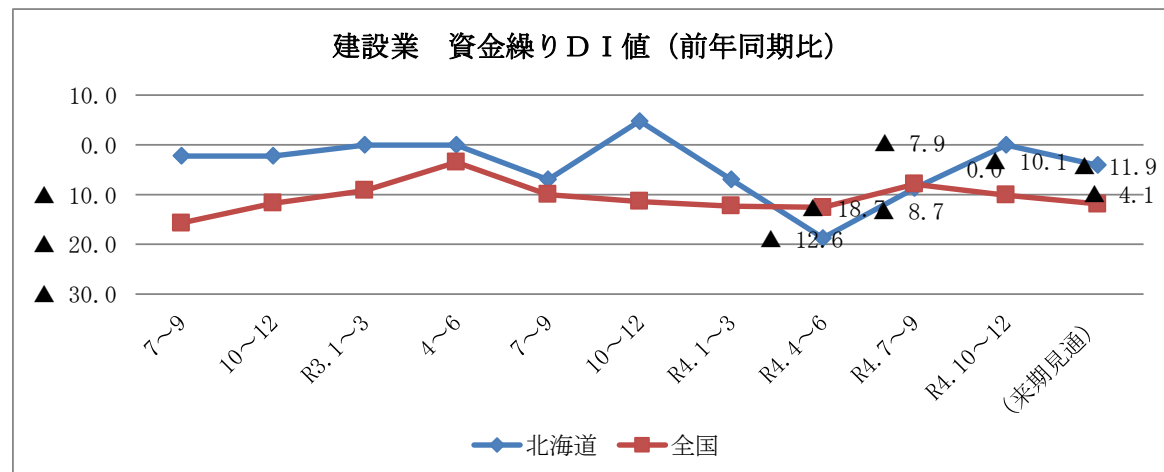
完成工事額



採算



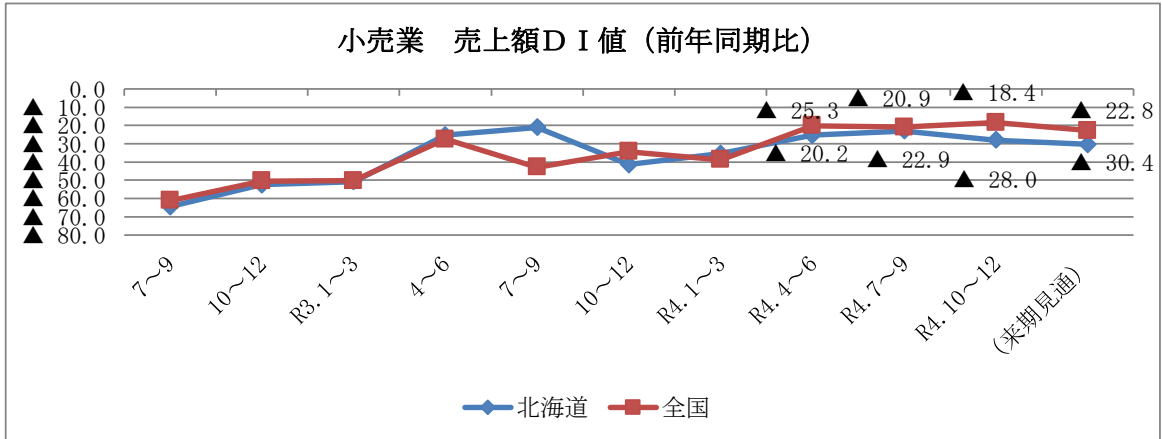
資金繰り



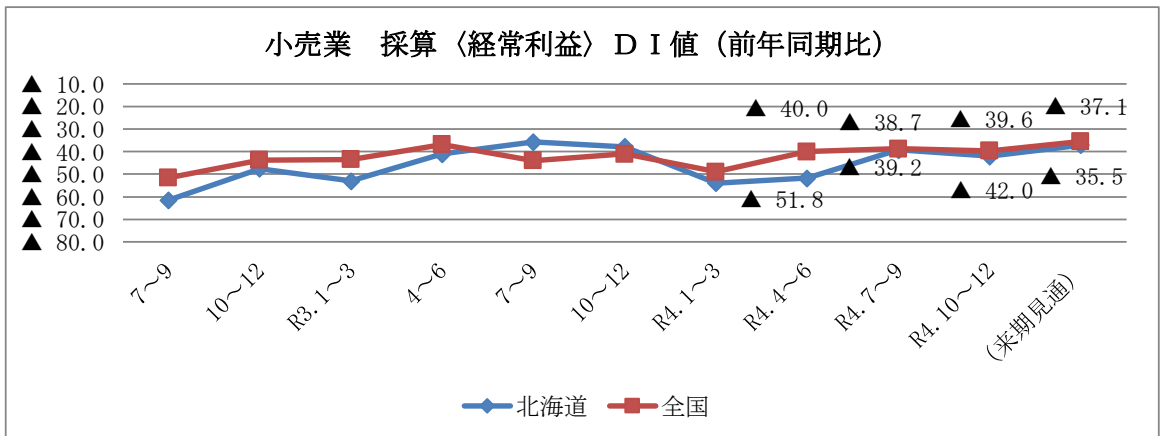
小売業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

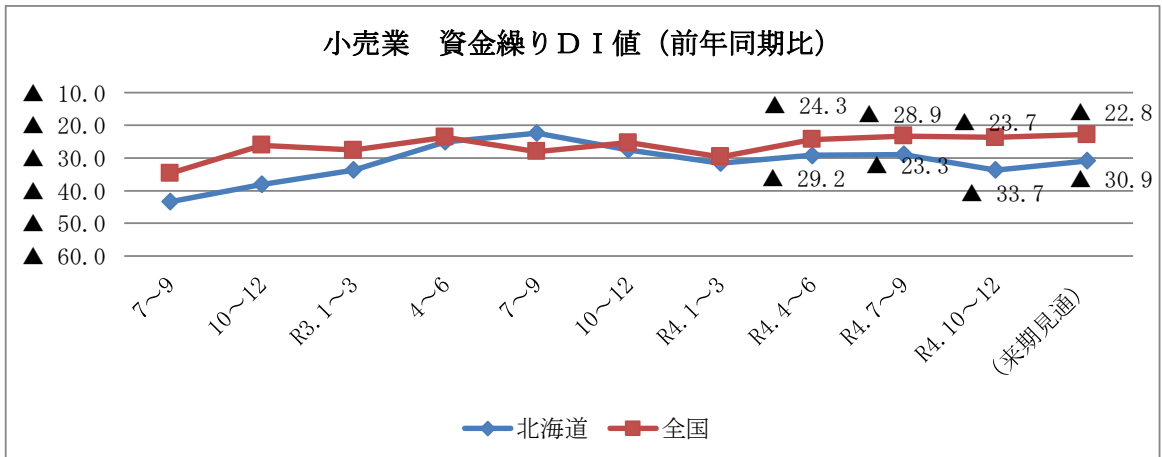
売上額



採算



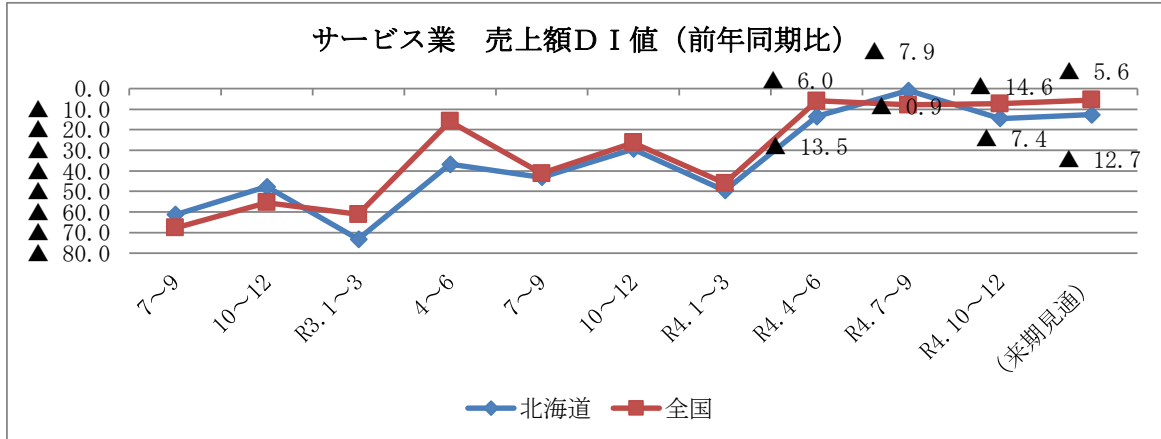
資金繰り



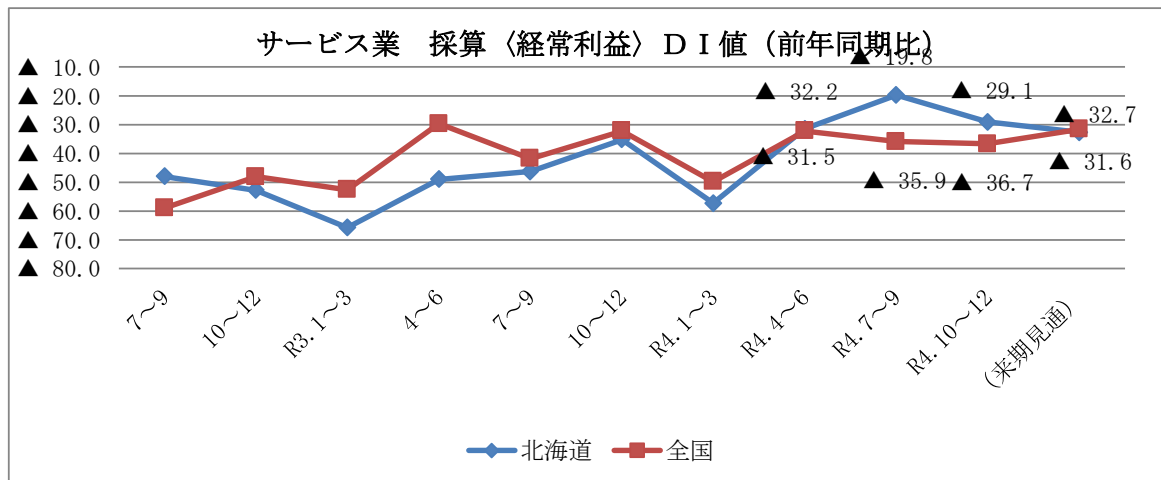
サービス業

【北海道】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…減少
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇
 【全国】(今期)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…減少、資金繰り▲DI値…上昇
 (見込)売上額▲DI値…上昇、採算▲DI値…上昇、資金繰り▲DI値…上昇

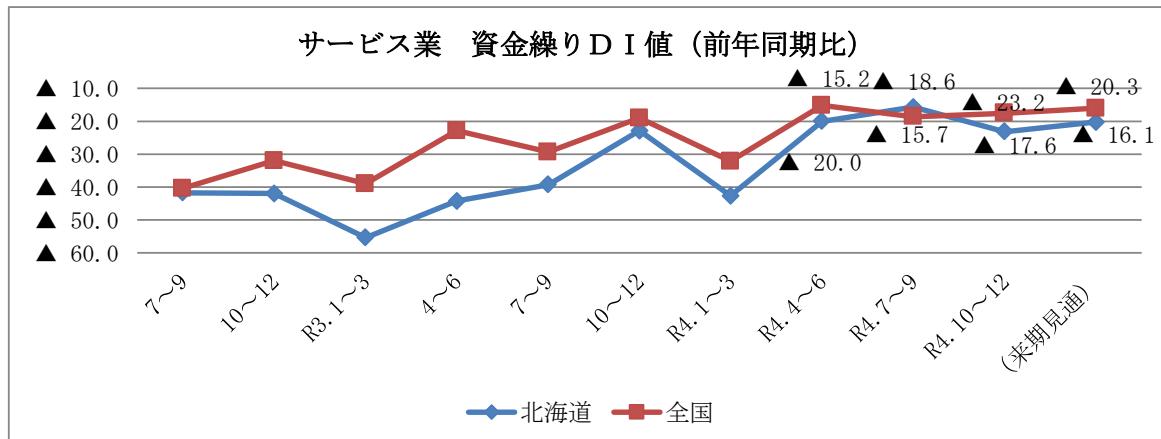
売上額



採算



資金繰り



5. 自社の業況判断の背景について感じている事(調査対象企業の声)

業種	内容
製造業	<p>○4月より新人さんを雇い半年が過ぎ、技術を教える為、つきっきりだが、なかなか進歩がなく、労力が下がり売上もダウンしている。今が辛抱時と耐えています。また価格の見直しをしたので、受注が停滞したが、今後回復する見込み。また、単価の低い仕事が多く、売上金額が停滞している。</p> <p>○売り上げ、客数ともに例年通りで大きな変化はない。</p> <p>○仕入れ、経費が高くなって利益率が悪くなっています。</p> <p>○原材料価格の上昇になったが、なかなか価格転嫁が厳しく、利益も上がらない。</p> <p>○大きな現場が完了し、下半期の受注も少しずつ入り始めてきています。前期より管工事業が増えてきており、下半期の売上にもどのように影響がでるか、期待されます。</p> <p>○不景気が続くだろう。各業界の再編が起こるだろう。</p> <p>○仕入が為替に直結しているため、円安をどうにかしてほしい。</p> <p>○新型コロナの影響が大</p> <p>○原料価格の上昇と客単価の低下、設備の老朽化、借入難などコロナ後において不安しかない。</p> <p>○度重なる原材料等の値上げと、売値の調整が難しい物も多く、企業努力だけでは追いつかない。</p> <p>○ほぼ全ての原料肉が過去にないほど高騰、特に鶏肉は災害レベルと言われるほどひどいです。卸先様への価格転嫁が間に合わず（ほぼ毎日値上がりしたため）一時悪化したがようやく値上げが落ち着き今後好転に期待できる。</p> <p>○ウクライナ侵攻による原材料や光熱費の高騰、コロナ禍による来客の減少と物価高騰によるニーズの変化を感じています。</p> <p>○弊社も12月1日から商品の値上げする。百貨店も感染予防の体制が出来、客足が戻り昨年より上回っている。ただ電気、灯油、ガスなどの高騰、商品の値上げが家計を圧迫し買い控えの中、お客の理解が得られるかが心配です。</p> <p>○昨年に比べ、ブリタラの処理量が増えた。サケの漁が増えたので、当社への処理委託が増えた</p>
建設業	<p>○材料価格の上昇に伴い、業況が悪化しており、事業計画の総予算も材料価格の高騰、外注費の高騰に伴い、全体的に予算が膨れ上がっています。</p> <p>○建材が高くなっている</p> <p>○燃料等の上昇により利益率が低下</p> <p>○仕事はあるが従業員が不足</p> <p>○建設投資額は右肩上がりで、特に民間の建設投資が増加傾向ですが、資材の高騰や若年人口の減少と高齢化による担い手不足が原因で、建設コストは大幅に上昇しており、人への依存度が高い建設業には深刻な問題である。</p> <p>○仕入価格・下請単価が今後さらに上昇する。</p> <p>○材料、燃料の高騰による経費の上昇に対し、官公庁発注の単価が追いついておらず苦しい中、ゼロカーボンやDX化などを求められ苦しさは拍車がかかっている。経費率の見直しも行ってほしい。</p> <p>○資材関係が10月から、大幅に値上げされ、経営がさらに圧迫されている。価格に反映させることができないのが現状である。公共事業も今年は社会資本事業が減ったことで、厳しい1年である。</p>
小売業	<p>○思っていたよりも仕入単価が上がっている。</p> <p>○灯油の売掛金の回収ができない客が増えている。</p> <p>○仕入れるたびに高くなっている</p> <p>○全く進展なく、もんもんとして11月を迎えました。</p> <p>○コロナの影響で売上減です。</p> <p>○町で販売・配布される商品券の利用が増加傾向だが、果たして日常の消費以上の効果があるのかは現時点では不透明。値上げ前の駆け込み的な、やや過剰な仕入の負担も続き、終了後の反動に不安を感じる。</p> <p>○町内全体の人の流れが、あまり良くないためか来客されているお客層が変わりました。農業、酪農業を営まれている方の来店が夏から現在まで極端に減少していると感じます。年末まで昨年以前のように戻ると助かります</p> <p>○コロナが落ち着いて、人の流れが少しずつ戻って来ているような気がするので今年の年末年始は昨年よりも良くなることを願っていました</p> <p>○原材料の価格上昇による仕入単価の上昇で苦しい状態になっている。</p>

<p>小売業</p>	<p>○光熱費、物価高騰に伴い、消費者が食料品を切り詰めているので売上が悪く、更に仕入単価が上昇しているため利益が少ない。 ○来月1月末でGE0の代理店を終了、その後の商材及び業態の検討が必要。 ○コロナ禍から取り組んだ外販向け業務用商材の活発化により業況好転傾向。また、全国催事も続々と再開され、ブランド力で声がかかっている。アフターコロナを薄々と感じ、来季の地元観光に期待したいところ。</p>
<p>サービス業</p>	<p>○何でも値上げで困っている。値上げした客は来なくなることはわかっている。もう削るところがない。 ○コロナの次は相次ぐ値上げで不安ばかり煽られますが、今は1人1人が自分のできることをしっかりやるだけだなどと思います。常に最善を尽くせるように気を遣っていきたいです。 ○教育旅行の回復と旅行支援で業績は相当好転した。来年度は厳しくなると思います。 ○客足がなかなか回復しない ○食材の仕入れが高く利幅が悪い ○農繁期もあり、思うように伸びなかった。また高齢で施設や町から転出などあり客数が減った。 ○新型コロナウイルス感染で10月に1月間休んだ ○今はどうみん割、HOKKAIDOLOVE割が導入され、宿泊人数が増加しているが、コロナ感染の増加等不安要素が解決していない ○売り上げが上がってもガソリン代、電気代の増大により、家庭に残るお金はそれほど変わっていないように感じる。若干採算は悪い気がするが、従業員が一人辞めたのでトータルの業況はトントンではないか。 ○需要があるのに供給するマンパワーが足りない。労働条件はもとより、無料で登録できるハローワークだけでは求人として不十分なのかもしれない。高い求人広告料を費やす値があるのなら検討するが、利用するに至っていない。 ○今後物価高騰の影響は必ず出てくる ○コロナ特別臨時休車制度を利用して、今期バス2台を休車扱いとしたため、不採算部門の経費が減少している。また貸し切りバスに変わる業務として懸案中のコミバスが確定したので売上の安定が見込まれるがドライバー不足が懸念される。 ○新事業展開に期待しているので好転としました。</p>
<p>サービス業</p>	<p>○設備投資の結果、売上や客数は増加傾向であるが、仕入単価の上昇や経費の増加により見通しの不透明さを感じている。また、夏場の繁忙期の売上水準がコロナ前に戻りつつあるため、来年度は更なる売上増を見込んでいる。 ○本別町高齢者チケット利用分が好調、日中の高齢者の利用が多く業況が好転している状況 ○原材料の値上げもさることながら、増税やインボイス等で事業者や消費者の負担が増え、今後維持していくのが心配 ○資材費や燃料費の高騰、新型コロナウイルスによる利用者の減少が続いている。 ○原油価格の高騰等による経費の増加、商品の値上がりによる仕入単価上昇で利益が見込めず厳しい現状が続いている。 ○悪いながら安定している。材料費等は上がっているが売上に対する材料費等は少ないのであまり感じていない。むしろ灯油代電気料が多少きつくなっている。お客様の回転は間隔が相変わらず長いままである。 ○この時期現状維持であればまあ良いと思うがこれ以上は好転は考えられない。 ○コロナによって集客の減少が売上が上がらない大きな要因となっている。</p>